

7月行事「ほめる達人」講話

7/4(火)一般社団法人日本ほめる達人協会 特別認定講師である福元直子先生をお招きして「ほめる達人」講話を開催しました。「ほめる」ってどんなことでしょうか?「人・モノ・おこる出来事」に価値を見出し、「ほめる」ということが重要です。つまり、「ピンチ」をいかに「チャンス」にかえることができる人になれるか、それが「達人」への道!です。そして、相手に伝わる「言葉」も学びました。

鹿児島学習センターには、「ほめる達人」検定2級・3級取得済みの教員が2名。未来の「達人」を育てるためにがんばっています!



福元先生は、鹿児島学習センターの「声優コース」講師もされています。



座学だけではなくグループワークも実施しました。学年を超えての交流です。

「1万円を入った財布を落としたら・・・」「どうしよう?」「大変」と思うか、「1万円ですんでよかった」「新しい財布を買うチャンス」と考えるか、そんなワークもありました。

生徒が「ほめる達人」講話をきいて早速、講師の先生へのお手紙です。

福元先生へ。昨日はありがとうございました。私は、今お母さんとけんかをしていて、毎日つらい思いをしていました。でも、昨日の先生の話の思いだして、(中略)言い返すのをやめました。これからもけんかをしないように、先生にいわれたことを思い出して、言葉の使い方を考えます。

1年Mより